



## 水資源に関する取り組み

明治グループが事業を営む上で水資源は不可欠です。貴重な資源である水の管理は、持続可能な社会実現のためにきわめて重要なテーマだと考えます。こうした認識のもと、明治グループは2030年度に向けて、水使用量削減の数値目標を設定しました。この目標に向けて、明治グループは適正な取水・排水管理を行い、リスクを低減することで大切な水資源を保全し、事業の持続性を確保していきます。

2030年度の国内水使用量（原単位）  
※2015年度比



### 取水について

明治グループでは、積極的な節水に絶えず取り組んでおり、取水による環境への影響を低減することに努めています。生産工程の見直しを行うことで水利用の効率化を実現するとともに、水資源の循環利用にも取り組んでいます。

### 排水について

明治グループは、日本国内において法令に定められた基準よりも、さらに厳しい排水に関する自主基準を設定し、水質汚濁防止に取り組んでいます。排水による環境への影響を減らすために、排水負荷の大きい工場やプロセスでは活性汚泥処理法やメタン発酵処理法などの環境技術を用いた処理設備を設置し、排水を制御しています。



明治チューインガム(株)のメタン発酵処理施設

### 水リスクについて

水使用に関する生産への影響を把握するために、国内外のすべての生産系事業所が位置する地域の水リスクを評価しています。その手法においては、世界資源研究所 (WRI) が発表した国際的な水リスク評価ツールである「AQUEDUCT」を用いた調査や、現地へのヒアリングなどを通じて情報を収集し、具体的な対策を検討しています。

## Voice

### 水資源に関する目標も新たに設け、事業を永續させていきます。

新たに掲げられた「明治グループ CSR 2026 ビジョン」では、低炭素社会を実現し、水資源を確保することが、事業の持続可能性を担保するために重要だと位置づけています。CO<sub>2</sub>削減に向けて省エネルギー対策をいっそう徹底するとともに、水資源の確保では、明治グループとして初めて具体的な目標を設けて管理体制を構築しました。目標設定にあたっては、貴重で限りある水資源を衛生的、潤沢に使用できる現在の環境下において必要な管理体制や、さまざまな水リスクに関する議論を重ねました。地球上に偏在している水資源を潤沢に使える状況を少しでも「もったいない」と思えるよう、この取り組みを継続していきます。



株式会社 明治 CSR推進部  
生活環境グループ長  
村尾 雅宏